

サステナブル（持続可能）な社会の実現に向けて、私たちは様々な解決すべき社会課題を抱えています。サステナビリティニュースでは、企業や社会のサステナビリティ（持続可能性）の向上に繋がるテーマを取り上げ、解説します。

【特集】日本におけるSDGsの取り組みの現状

第4号は、日本におけるSDGsの取り組みの現状について解説します。



SDGsの17のゴール（出典：国連広報センター）

2030年に世界が達成すべき目標として設定されたSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、大企業・中小企業問わず、あらゆる企業に対してビジネスリスク・チャンスの存在を示唆するものでもあります。以下では、日本政府や地域単位でのSDGsに関する取り組みや、企業がSDGsに取り組む上で助けとなる制度について紹介します。

■ 日本政府のSDGsへの取り組み

2015年のSDGs採択を受けて、政府は2016年5月に、総理大臣を本部長、官房長官・外務大臣を副本部長とし、全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を設置し、国内実施と国際協力の両面で率先して、取り組む体制が整備されました。さらに2016年12月、今後の日本の取り組みの指針となる「SDGs実施指針」を決定しました（右上図）。

この実施指針を基に、ジャパンSDGsアワードの創設や、SDGs実施指針を達成するためのアクションプランの提示によって、日本におけるSDGsの普及を目指しています。また、SDGsに積極的に取り組む自治体への支援としてSDGs未来都市を導入し、選定された自治体に対しては、補助金を提供する仕組みがあります。

【事例】SDGs取組事例：株式会社虎屋本舗

株式会社虎屋本舗は、広島県福山市に拠点を置く、1620年（元和6年）創業、従業員80名の和菓子屋であり、現在は、和洋菓子製造販売を生業とし、直営店舗、全国百貨店、オンラインショップを通じて和菓子の販売を行っている企業です。

同社は、長寿企業として、地域の伝統文化の継承や地方創生に貢献していることから、第2回ジャパンSDGsアワードのSDGsパートナーシップ賞に選定されています。

◆ SDGsの取組みの一例 『菓子教室の実施』

同社の熟練の菓子職人が、離島の学校や山間部、の障がい者支援学級、高齢者福祉施設などで菓子教室を実施しています。菓子教室の実施については、地



ビジョン
持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。

【実施原則】

普遍性

包摂性

参画型

統合性

透明性と説明責任

【8つの優先課題】

① あらゆる人々の活躍の推進	② 健康・長寿の達成
③ 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	④ 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
⑤ 省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会	⑥ 生物多様性、森林、海洋などの環境の保全
⑦ 平和と安全・安心社会の実現	⑧ SDGs実施推進の体制と手段

出典：SDGs推進本部「SDGs実施指針 概要」より MS&AD インターリスク総研作成

■ 地域でのSDGs普及の取り組み

企業へのSDGsの支援については、政府だけでなく自治体や地域の機関の単位でも独自の枠組み作りが行われています。

企業の資金面での調達に関しては、地方銀行を中心にSDGsと関連した融資のメニューがリリースされています。具体的には、SDGs私債の取り扱いの開始や、無料のSDGsコンサル付き融資などがあります。

また、社内へのSDGsの意識の醸成という点では、学校が取り組んでいる事例もあり、金沢工業大学ではSDGs推進センターを設立し、産学連携でSDGsカードゲームワークショップを開催しています。

このように、企業がSDGsに取り組むための支援は地域レベルでも拡大しており、積極的に取り組む企業は様々なサポートを受けられるようになってきています。

（首相官邸「第2回「ジャパンSDGsアワード」受賞団体」より）

元の小中学校や、離島や山間部などでも対応しているため、周辺地域に住んでいればどこでも参画できる仕組みとなっています。

また、企業戦略としてのCSV（共有価値創造）戦略を推進しており、瀬戸内地方における希少性と多様性をもった地域リソースを生かした新たな市場開拓にも挑戦しており、そのひとつが地元の高校との共同での商品開発です。同社では、実際にパートナーシップでこの活動に取り組み、地元の「府中味噌」を活用した2つの商品をリリースしています。

***SDGsの様々な取組に関しては、同社HPで閲覧することができます。**

